

# 平成27年度研究調査報告

## 1. 修学旅行の実施状況調査

## 2. 修学旅行の課題調査

『学びの集大成を図る修学旅行』  
の取組について

～関東・東海・近畿 地方集計比較～

【感性をはぐくむ修学旅行】

平成28年3月

公益財団法人 全国修学旅行研究協会

## 目 次

I	調査研究のねらい	1
II	調査状況	2
	1 調査の対象	
	2 調査の時期	
	3 調査内容	
	4 回答状況	
III	実施概況	3
	1 実施時期	3
	2 実施日数	
	3 実施方面	4
	4 訪問地(県)	5
	5 地区別旅行費用	6
	6 地区別体験活動費用	7
IV	旅行会社の選定について	8
	1 選定について	
	2 選定の際、重視する点	8
V	「学びの集大成を図る修学旅行」の取組について	10
	1 現地で最も影響を受けたこと	
	2 現地での体験学習について	10
	3 事後学習について	18
VI	まとめ	21

## I 調査研究のねらい

戦後70年、修学旅行は平和な社会の象徴として、また、日本人の旅の原点の一つとして、生徒たちの心に、色褪せることのない思い出と、豊かな感性や社会性といった教育的価値を育んできた。

一方で、その時代、その地域の立地条件等により、形や輸送手段、実施方法や目的地の多様化など、その風景を少しずつ変えながら進歩して来たとも言える。ねらいや育てたい資質・能力を明確にし、歴史体験をはじめ、自然体験や社会体験など、様々な形での体験活動の充実が図られてきた。各教科等との関連を図った指導実践、そして、生徒自らが主体となって取り組む方法など、その活動の内容と場の裾野は広大になってきた。

今後も、日本独特の教育文化と言っている修学旅行は、「学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置いた深い学び、他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める対話的な学び、自らの学習活動を振り返って次につなげる主体的な学び」の過程を実現していく、所謂、アクティブラーニングの取組そのものの一つとしても、教育的な価値は高まっていくものと思われる。

今年度も、毎年行っている実施状況調査（実施時期、方面、費用等）と、研究主題に係る課題調査として、「学びの集大成を図る修学旅行の取組について」の継続調査を行った。

実施状況調査については、基本的な実施時期、日数、方面、訪問地、旅行費用、体験活動費用等について行っているが、それぞれの地区によって顕著に状況が変わるものもあれば、共通のものもあり、教育旅行としての特徴がよく分かるものである。

今年度は、旅行会社の選定方法、観点等についても調査を行った。

また、今年で4年目となる「学びの集大成を図る修学旅行の取組について」に関わっては、昨年の調査項目を更に発展させる意味で、

- ①現地において現物にふれて最も影響を受けたこと
- ②体験学習の実施方法、内容、時間等
- ③事後指導の実施、内容

以上の3点について調査・研究を行った。

回答の中には地域の状況によって異なるものも多く見られる一方で、教育旅行としての共通課題も見えてきている。地道な調査と分析・研究の重要性を改めて感じるところである。

## II 調査状況(平成27年度修学旅行の実施状況調査)

### 1 調査対象

関東5県(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉)の公立中学校  
 東海3県(愛知・三重・岐阜)の公立中学校  
 但し、愛知県は県中学校長会調査データを使用  
 近畿2府4県(滋賀・京都・奈良・大阪・兵庫・和歌山)の公立中学校

### 2 調査の時期

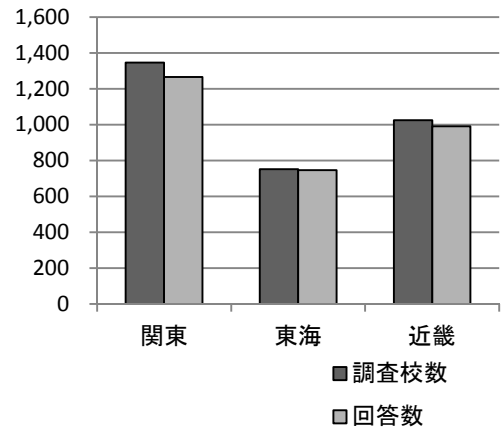
平成27年7月～11月

### 3 調査内容

- (1)平成27年度実施(調査以降の予定を含む)の修学旅行の概況  
 時期・日数・旅行方面・宿泊地・旅行費用
- (2)旅行業者の選定について
- (3)学びの集大成を図る修学旅行の取組について

### 4 回答状況

	校			
	関東	東海	近畿	合計
調査校数	1,345	751	1,024	3,120
回答数	1,266	746	991	3,003
回答率	94.1%	99.3%	96.8%	96.3%



#### 関東地区

	校					
	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	合計
調査校数	221	158	168	417	381	1,345
回答数	201	158	110	416	381	1,266
回答率	91.0%	100.0%	65.5%	99.8%	100.0%	94.1%

#### 東海地区

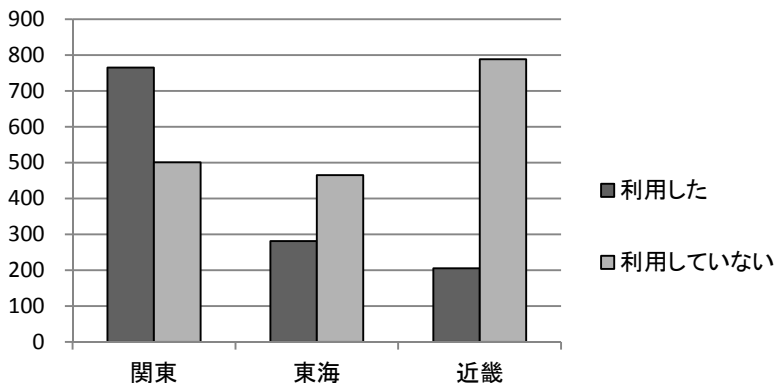
	校			
	三重	岐阜	愛知	合計
調査校数	153	184	410	747
回答数	153	183	410	746
回答率	100.0%	99.5%	100.0%	99.9%

#### 近畿地区

	校						
	滋賀	京都	奈良	大阪	兵庫	和歌山	合計
調査校数	101	96	105	333	262	127	1,024
回答数	95	95	102	326	260	113	991
回答率	94.1%	99.0%	97.1%	97.9%	99.2%	89.0%	96.8%

### 連合体を利用していますか

	校			
	関東	東海	近畿	合計
利用した	765	281	205	1,251
利用していない	501	465	788	1,754
利用率	62.6%	37.4%	21.3%	42.6%



・連合体の利用は全体で約43%  
 近畿地区は実施方面や利用交通機関の多様性と民泊が多いことなど、利用率が低い一因となっている。  
 ・東海地区は片道新幹線利用となり、割引のメリットが無いことから連合体利用が伸び悩んでいる。  
 ・関東地区を中心に連合体輸送のメリットが十分理解されていないため利用していない学校も数多くあると考えられる。

### Ⅲ 実施概況

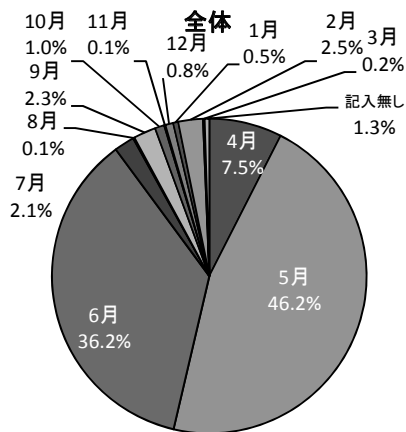
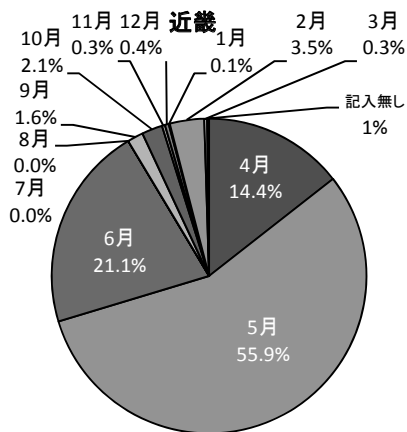
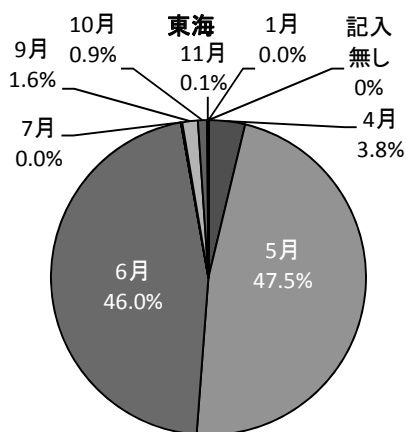
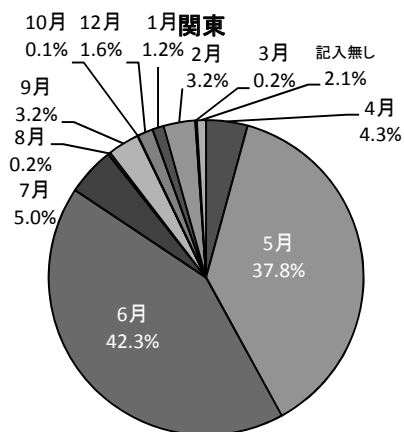
#### 1 実施時期

	校				
	関東	東海	近畿	合計	割合
4月	54	28	143	225	7.5%
5月	478	354	554	1,386	46.2%
6月	536	343	209	1,088	36.2%
7月	63			63	2.1%
8月	3	1		4	0.1%
9月	41	12	16	69	2.3%
10月	1	7	21	29	1.0%
11月		1	3	4	0.1%
12月	20		4	24	0.8%
1月	15		1	16	0.5%
2月	41		35	76	2.5%
3月	2		3	5	0.2%
記入無し	12		2	14	0.5%

・実施時期5～6月の傾向  
(24年)(25年)(26年)(27年)  
83%⇒82%⇒82%⇒82%

・9～10月実施校  
(24年)(25年)(26年)(27年)  
81校⇒85校⇒85校⇒98校

・2月実施校は関東地区41校、近畿地区35校となっている。これらは2年  
年生に於いて実施している。(スキー  
修学旅行もある。)

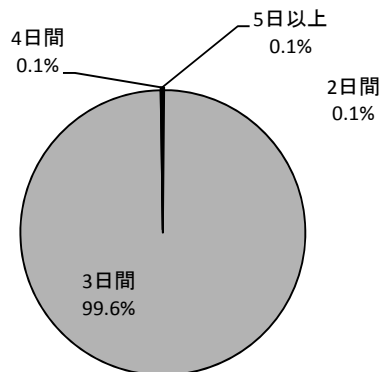


#### 2 実施日数

	校				
	関東	東海	近畿	合計	割合
2日間	0	2		2	0.1%
3日間	1,254	333		1,587	99.1%
4日間	2	0		2	0.1%
5日以上	1	1		2	0.1%

\*5日以上：海外ホームステイ（愛知除く）

・実施日数は3日間が99.6%となっている。



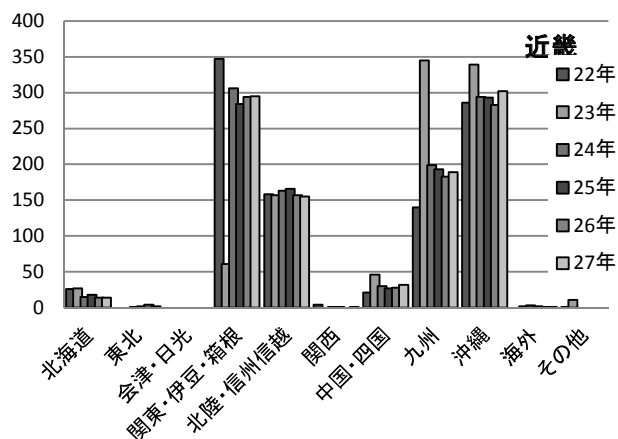
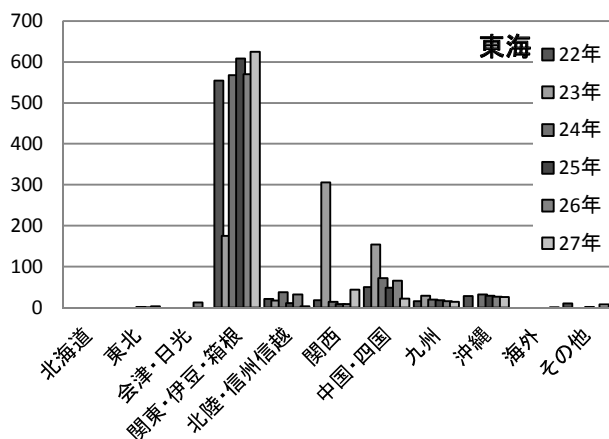
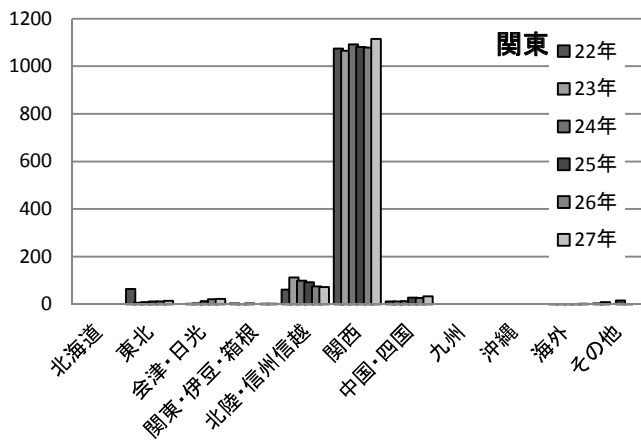
### 3 実施方面

(平成26年度)

	校				
	関東	東海	近畿	合計	割合
北海道			14	14	0.5%
東北	11	1	4	16	0.5%
会津・日光	21	13		34	1.2%
関東・伊豆・箱根	2	570	294	866	29.5%
北陸・信州信越	75	32	157	262	8.9%
関西	1,078	9		1,087	37.0%
中国・四国	27	66	28	121	4.1%
九州		16	183	199	6.8%
沖縄		27	283	310	10.6%
海外	1	0	1	2	0.1%
その他	1			1	0.0%
合計	1,216	734	964	2,914	99.2%

(平成27年度)

	校				
	関東	東海	近畿	合計	割合
北海道			14	14	0.5%
東北	14	3	2	19	0.6%
会津・日光	22			22	0.7%
関東・伊豆・箱根	2	625	295	922	30.7%
北陸・信州信越	72	3	155	262	8.7%
関西	1,115	44	1	1,160	38.6%
中国・四国	33	22	32	87	2.9%
九州		14	189	203	6.8%
沖縄		26	302	328	10.9%
海外	2	1	1	4	0.1%
その他		8		8	0.3%
合計	1,260	746	991	2,997	99.8%



#### (関東地区)

関東地区は約90%が関西(含む広島)方面へ

(26年) (27年)  
1105校(88.1%)⇒1148校(90.7%)

#### 東北・会津日光・信州方面の変動

(22年)(23年)(27年)

東北) 21校⇒ 6校⇒ 14校

会津・日光) 43校⇒ 2校⇒ 22校

信州) 60校⇒ 107校⇒ 72校

\*東日本大震災後、急減した東北方面が徐々に増えつつあるが、完全に戻っていない。信州は千葉県の中学校が72校実施している。

#### (東海地区)

#### 関東・中国四国・関西方面の変動

(22年)(23年)(27年)

関東) 554校⇒175校⇒ 625校

中国四国) 50校⇒ 154校⇒ 22校

関西) 18校⇒ 306校⇒ 44校

沖縄) 28校⇒ 0校⇒ 26校

23年の東日本大震災後に激減した関東方面が24年度には急増し震災前よりも増加傾向にある。

中国四国方面も22年度より減少傾向にある。

関西方面が増加傾向である。

#### (近畿地区)

#### 沖縄、関東、九州、北陸信州方面の変動

(22年)(23年)(27年)

関東) 347校⇒ 61校⇒295校

中国四国) 21校⇒ 46校⇒ 32校

九州) 140校⇒345校⇒189校

沖縄) 286校⇒399校⇒302校

東日本大震災後、関東方面が激減して中四国、九州、沖縄方面が急増したが、徐々に22年度 of 状況に戻っている。

但し、関東方面はやや減少傾向があり、九州方面がやや増加傾向にある。

#### 4 訪問地(県)(複数回答) 校

	関東	東海	近畿	合計	割合
北海道			13	13	0.3%
青森県	5			5	0.1%
岩手県	4			4	0.1%
宮城県	2	3	1	6	0.1%
山形県	5			5	0.1%
福島県	20		1	21	0.5%
栃木県	17	11		28	0.6%
群馬県	1		1	2	0.0%
千葉県		108	104	212	4.7%
東京都	3	554	138	695	15.3%
神奈川県		121	1	122	2.7%
新潟県	3		3	6	0.1%
長野県	67	9	136	212	4.7%
山梨県		113	46	159	3.5%
静岡県		49	2	51	1.1%
愛知県				0	0.0%
岐阜県	9		10	19	0.4%
富山県	2		5	7	0.2%
石川県		1	1	2	0.0%
福井県				0	0.0%
滋賀県	11			11	0.2%
和歌山県		1	2	3	0.1%
京都府	1,146			1,146	25.2%
大阪府	56			56	1.2%
兵庫県	16	1		17	0.4%
奈良県	1,106			1,106	24.4%
広島県	33	55	7	95	2.1%
山口県			3	3	0.1%
岡山県		4	2	6	0.1%
島根県			1	1	0.0%
愛媛県			1	1	0.0%
徳島県			10	10	0.2%
高知県			3	3	0.1%
福岡県			2	2	0.0%
長崎県		1	138	139	3.1%
大分県			1	1	0.0%
佐賀県			7	7	0.2%
熊本県			8	8	0.2%
鹿児島県			29	29	0.6%
沖縄県		26	299	325	7.2%
海外	2		1	3	0.1%
合計(延校数)	2,508	1,057	976	4,541	

・関東地区に於いては  
訪問地は京都・奈良が圧倒的に多い。  
方面別にみると、信州方面で(千葉県の学校)が農家  
民泊や農家体験をしている学校がある。

・東海地区に於いては  
東京方面が多く、これに神奈川、千葉、山梨が続く。  
関東地区以外に、広島、静岡や沖縄が続く。

・近畿地区に於いては沖縄方面が最も多く、次に、東  
京、長崎、長野、千葉と続く。北海道方面にも13校が実  
施している。  
四国、九州方面へと広く実施している。

※割合は全回答数4,541校に対する値

※近畿地区は1泊目の宿泊地

### 5 地区別旅行費用(生徒一人当たり平均額) 校

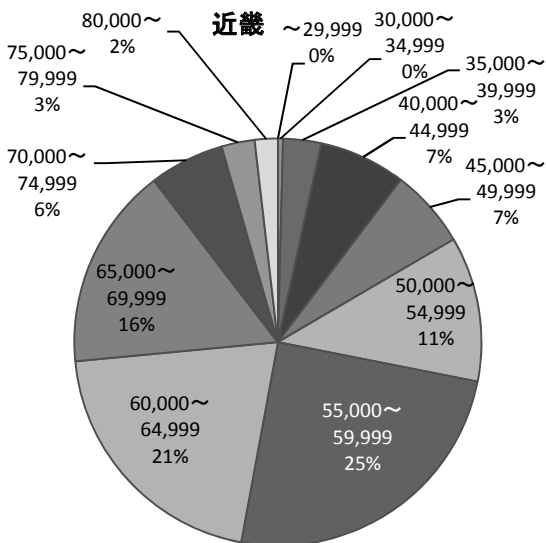
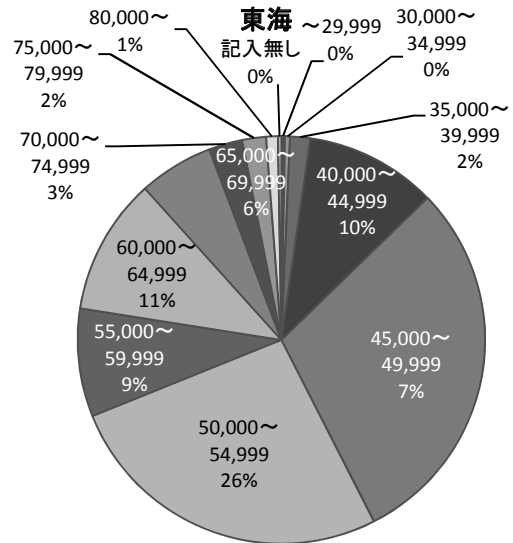
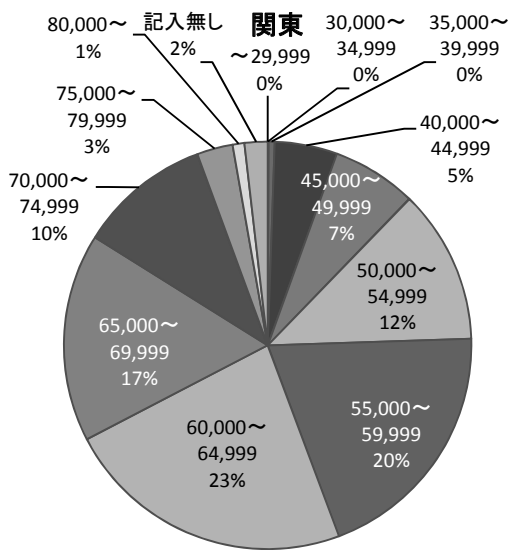
	関東	東海	近畿	合計	割合
～29,999	0	2	0	2	0.1%
30,000～34,999	1	3	4	8	0.3%
35,000～39,999	6	12	30	48	1.6%
40,000～44,999	63	78	68	209	7.0%
45,000～49,999	85	222	62	369	12.3%
50,000～54,999	155	197	114	466	15.5%
55,000～59,999	251	64	245	560	18.6%
60,000～64,999	292	81	204	577	19.2%
65,000～69,999	209	44	159	412	13.7%
70,000～74,999	133	20	59	212	7.1%
75,000～79,999	36	14	26	76	2.5%
80,000～	12	7	18	37	1.2%
記入無し	23	2	2	27	0.9%
合計	1,266	746	991	3,003	

・関東地区平均費用 60,061円

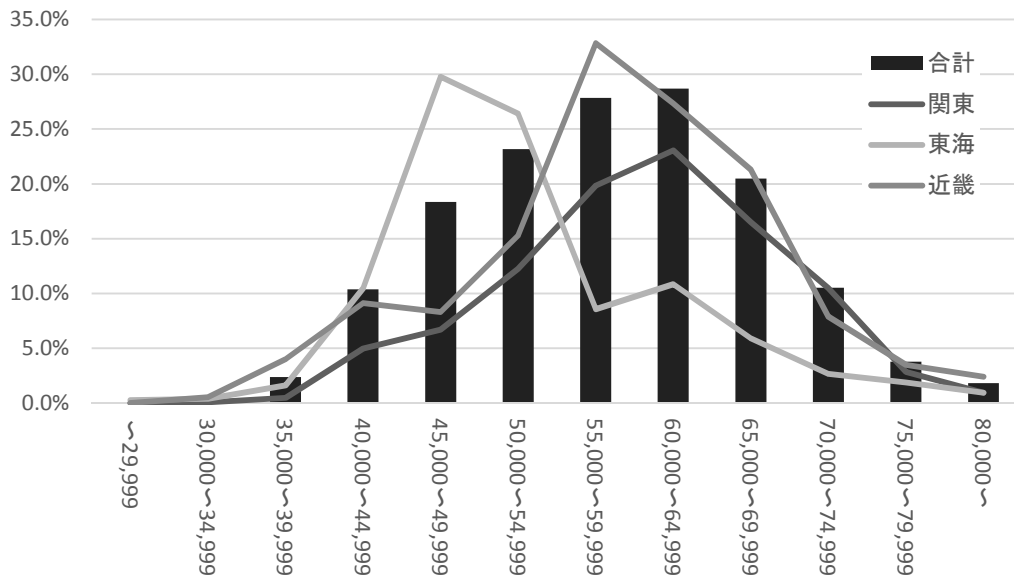
・東海地区平均費用 60,558円

・近畿地区平均費用 61,209円

平均金額 60,609円





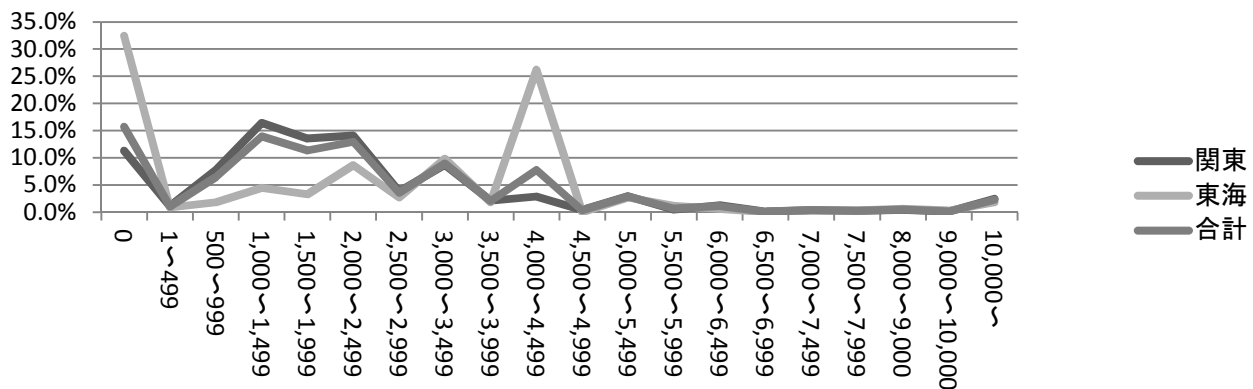


6 地区別体験活動費用(生徒一人当たり平均額) 校

	関東	東海	近畿	合計	割合
0	143	109		252	15.7%
1~499	14	3		17	1.1%
500~999	98	6		104	6.5%
1,000~1,499	208	15		223	13.9%
1,500~1,999	171	11		182	11.4%
2,000~2,499	178	29		207	12.9%
2,500~2,999	48	9		57	3.6%
3,000~3,499	110	33		143	8.9%
3,500~3,999	27	6		33	2.1%
4,000~4,499	36	88		124	7.7%
4,500~4,999	5			5	0.3%
5,000~5,499	37	9		46	2.9%
5,500~5,999	6	4		10	0.6%
6,000~6,499	16	2		18	1.1%
6,500~6,999	1			1	0.1%
7,000~7,499	4	1		5	0.3%
7,500~7,999	3	1		4	0.2%
8,000~9,000	5	2		7	0.4%
9,000~10,000	1	1		2	0.1%
10,000~	31	6		37	2.3%
記入無し	124	1		125	7.8%
合計	1,266	336		1,602	100.0%

愛知除く

※割合は関東+東海1,602校に対する値



・生徒一人当たりの体験活動費用は1,000~2,499円の範囲が最も多い。

・1,000~2,499円の範囲に約38.2%の学校が含まれる。

・記入なしの学校も多く見られた。

※体験活動は制作的な活動以外にスポーツ体験や宿泊体験など様々あり、費用の範囲も広い。

## IV 旅行会社の選定について

### 1 選定について

校

	関東	東海	近畿	合計	割合
ア:毎年選定	1,010	260	740	2,010	77.5%
イ:2、3年毎	159	71	224	454	17.5%
ウ:ローテーション	47	1	0	48	1.9%
エ:その他	48	1	25	74	2.9%
記入なし	2	4	2	8	0.3%
合計	1,266	337	991	2,594	100.0%

その他

希望業者なし

会社が決まっている

ほぼ固定

入札

市または県修学旅行連合が2～3年ごとに選定

市内中学校、または校長会で選定

市連合で3年ごとに選定

必要に応じて

### 2-(1) 選定の際、重視する点(複数回答)

校

	関東	東海	近畿	合計	割合
ア:金額	1,066	293		1,359	84.8%
イ:安全面	883	253		1,136	70.9%
ウ:企画	527	265		792	49.4%
エ:立地等条件	885	137		1,022	63.8%
オ:旅行会社	660	202		862	53.8%
カ:宿舎の条件	764	79		843	52.6%
キ:その他	37	10		47	2.9%
延校数	4,822	1,239		6,061	

※割合は関東+東海1,603校に対する値

### 旅行会社の選定について

・平均すると約80%の学校が毎年選定を行っているが、地区によって若干状況は異なる。2～3年毎を含めると、9割以上の学校が様々な方法で選定を行っていることになる。  
 ・重視する点では、金額が一位で安全面が上位であることは関東も東海も同じである。それ以外の項目では、関東は比較的宿舎の立地や条件が上位であるのに対して、東海は企画が2位になっているなどの違いが見られる。

その他(詳細)

#### 関東

下見費用の学校負担金

旅行会社の引率人数

PTAの役員が決める

期日

市修学旅行委員会で選定

市全体で決定している

指定期日と内容の一致

宿舎は決まっている

初めての広島なので、広島での内容

入札

食物アレルギー対応

如何に生徒が学べるかも重視しています

保護者代表が選定に参加

本校の希望する条件を満たしている

旅行日

旅行目的の実現度

連合組織の規定

数社によるプレゼン後、会議で決定

体験活動の充実

担当者の誠意(人柄)

添乗員数

#### 東海

学校の方針の理解度

対応の早さ

要望への対応状況

支援が必要な生徒へのサポート体制

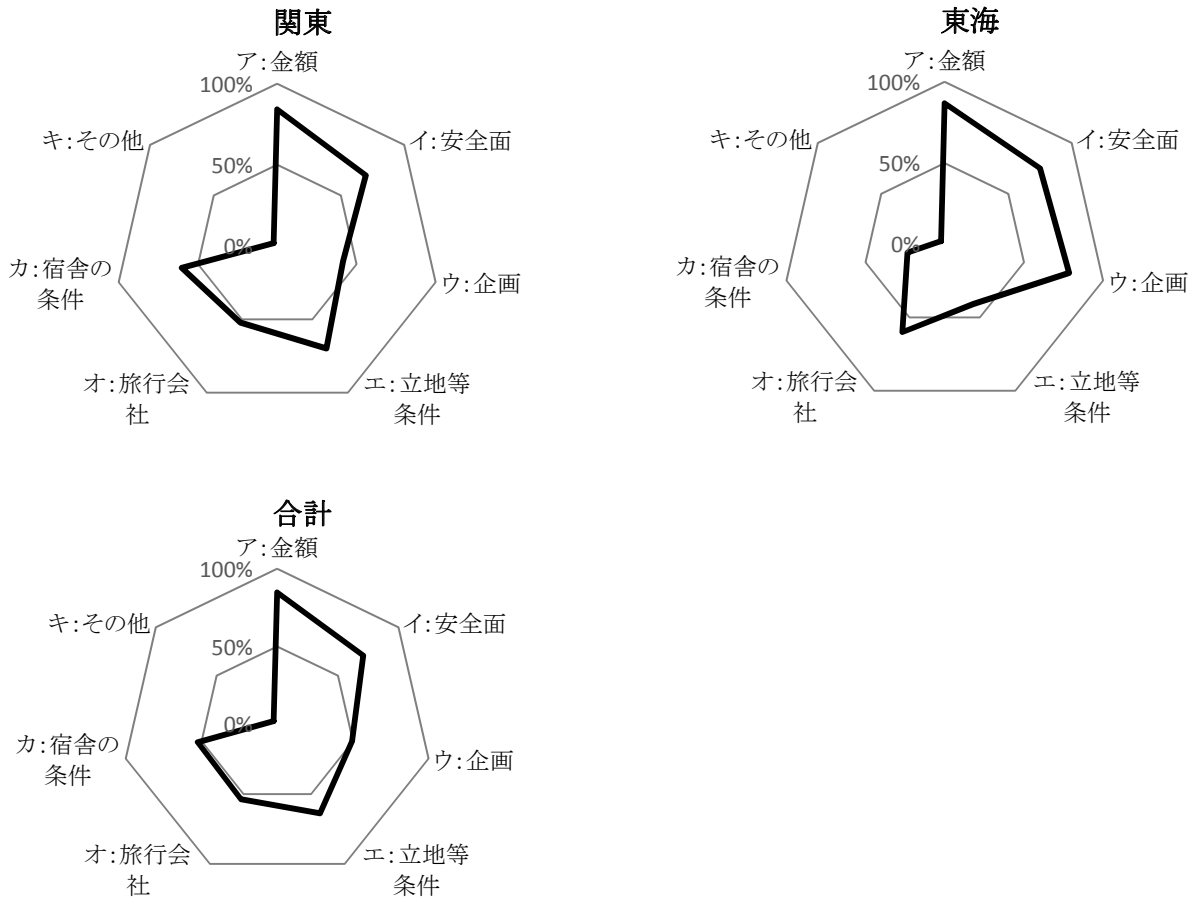
教育的配慮

旅行会社の対応

迅速な対応

生徒が活動できる場

## 2-(2) 選定の際、重視する点(レーダー)



### 選定の際、重視する点(レーダー)

・いずれの地区も重視する点では、金額がトップであり、安全面が上位である。昨今の消費税率の引き上げ、バス代の値上げ等を考えると、内容も充実させたいが費用も気になるのは、むしろ、当然かも知れない。

・関東では、宿泊地の立地条件、宿舎の条件が上位を占めるのは、実施方面の90%以上が関西方面であるのに対して、東海は目的地が多様で企画面のウェイトが宿舎等の条件よりも重視されていることが明らかである。

## V 「学びの集大成を図る修学旅行」の取組について

### 1-(1) 現地で最も影響を受けたこと(複数回答) 校

	関東	東海	近畿	合計	割合
ア:実物を見る	721	136	342	1,199	46.2%
イ:予想以上の感動	428	44	304	776	29.9%
ウ:実際に体験する	296	91	474	861	33.2%
エ:人との触れ合い	183	49	371	603	23.2%
オ:学校での意欲向上	68	10	79	157	6.1%
カ:その他	2	4	7	13	0.5%
合計	1,698	334	1,577	3,609	

※割合は全体数2,594校に対する値

その他(詳細)

**関東**

共通の思い出、感動を味わうことができる

半年かけて調べてきた内容を現地で検証し、実物で見ること

**東海**

生き方を学ぶ

人格形成

**近畿**

自分の将来に結び付けて考えることができる

平和や命について再認識する

海や山など自然に身をおき、心身ともに解放される実感を味わう

自分たちに時間や場所などを決めて行動することにより、仲間との信頼関係を深める

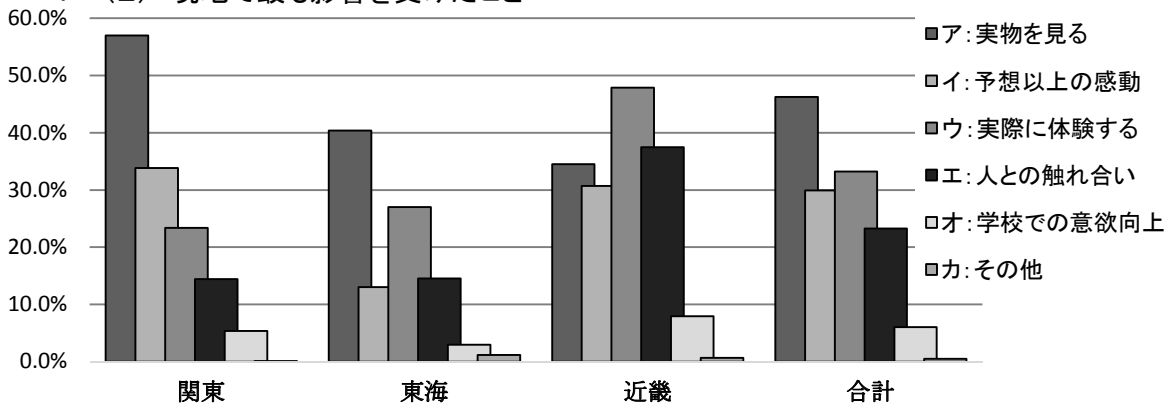
団体行動生活、バスや航空機の利用体験

### 学びの集大成を図る修学旅行について

・現地で最も影響を受けたことについては、「実物を見る」の項目が一番である。学習指導要領の「平素と異なる生活環境にあつて、豊かな自然や文化に触れる体験を通して」の趣旨から照らしても納得出来る数字と思われる。

同じく学習指導要領の趣旨でもある「学校生活での意欲向上」の項目では、まだ低い数字に留まっている。

### 1-(2) 現地で最も影響を受けたこと



### 2-(1) 現地での体験学習について

#### 体験学習の実施について(複数回答)

	関東	東海	近畿	合計	割合
ア:特有の体験	965	213	785	1,963	75.7%
イ:生徒が選択	85	36	67	188	7.2%
ウ:体験実施せず	184	72	150	406	15.7%
エ:その他	28	13	19	60	2.3%
未回答	9	3	63	75	2.9%

※割合は全体数2,594校に対する値

### 体験学習の実施について

・各県とも8割～9割の学校が体験学習を取り入れて、現地特有の体験をすることに重点が置かれている。一方で現地での体験学習を実施せずと回答している学校が約15%あった。

## その他(詳細)

### 関東

民泊  
3日目のクラス学習で体験学習を取り入れている  
クラス別行動で希望したクラスは実施する  
学年実施の場合ア、班別活動の場合イ  
会津市内の事業所にて職場体験学習を実施  
今年度は宿泊地と時間の関係で実施できなかった  
時間的に分泊であったこと、大規模校で受け入れ先がなくてできなかった  
農作業  
生徒の希望で着物体験  
班でやりたいことを選ぶ  
現地特有のものを生徒が選択  
コミュニケーション活動  
班またはクラスで選択するので実施しない班が多い

### 東海

講話中心  
キャリア教育・平和学習の一環  
現地企業訪問  
福祉施設・人権講話  
公共交通機関利用  
企業訪問  
3年間の総合学習の集大成としてテーマ別に分散訪問  
現地特有ではないが全員で体験  
班により体験・見学  
民泊の中で体験  
ルートを班ごとに計画 公共の規範意識を醸成  
学校の教育活動とリンク  
都内班別自主学習

### 近畿

公共交通機関を利用し、都内班別行動  
桜島の火山灰を体験  
スキー実習  
フィールドワーク中心  
防災体験の実施  
民泊先での各種体験  
夜に雪上でのキャンプファイアー

2-(2) 体験学習の内容について(複数回答) 校

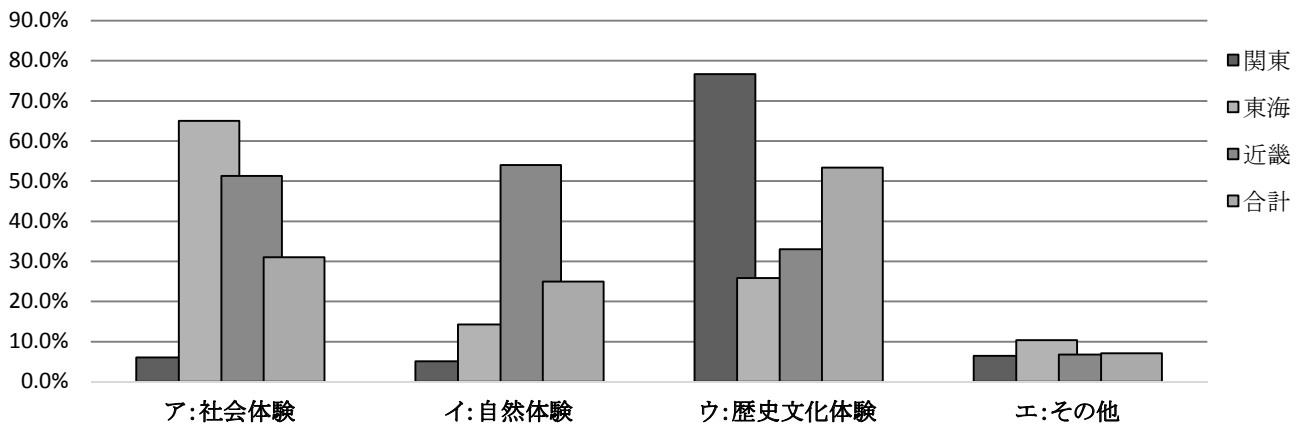
	関東	東海	近畿	合計	割合
ア:社会体験	77	219	508	804	31.0%
イ:自然体験	65	48	535	648	25.0%
ウ:歴史文化体験	971	87	327	1,385	53.4%
エ:その他	82	35	67	184	7.1%
未記入・空欄	185	80	191	456	17.6%

※割合は全体数2,594校に対する値

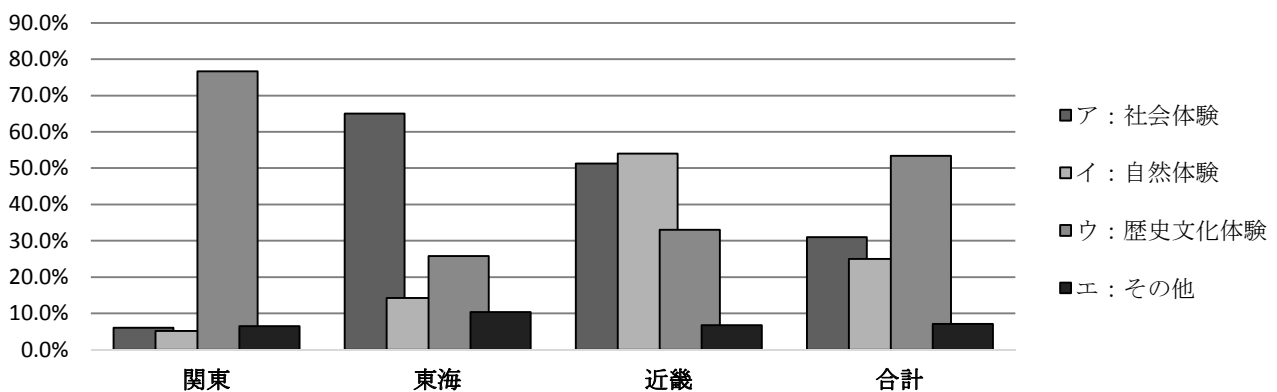
体験学習の内容

・関東地区は実施方面の90%以上が関西(京都・奈良)のため、歴史文化体験が圧倒的に多い。東海では社会体験が多く、近畿地区では実施方面の多様さを反映して、体験内容も多様である。その他の項目を見てみると、極めて多種多様な内容となっており、その豊かさと充実ぶりは、色々な意味での可能性を感じさせる。

2-(2) 体験学習の内容について(学習内容別)



2-(2) 体験学習の内容について(地区別)



## ア:社会体験

### 関東

広島で語り部から戦争の話を聞く 平和学習、被爆者講話 平和学習、平和祈念式典への参加 平和祈念公園内のフィールドワーク  神戸防災学習 震災・防災体験学習 震災学習 震災講話、さっぱ船、民泊 船からの震災学習 南三陸町震災体験を聞く ホテルでの避難訓練	山菜採り 田植え 農業 農業通してのボランティア 農家民泊 農作業体験 明日香村体験 林業体験 地引網、船釣り、磯釣り	座禅 茶道 扇子作り 八つ橋作り 舞妓さんへのインタビュー 延暦寺で法話と清掃活動  高校生との交流 高校訪問、ホームステイ B&S(Brother&Sister) 英会話 現地の外国の方と英語でコミュニケーション ペンション清掃
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 東海

原爆遺構めぐり 原爆資料館 原爆養護ホーム訪問 ガマ体験 詩の朗読会 灯籠流し 難民について考える 被差別部落の方からの聞き取り 被爆講話 被爆体験談 碑めぐり 広島市内班別研修 広島市内班別平和研修 福竜丸 平和アンケート調査 平和学習 平和セレモニー 原爆養護ホーム訪問 人権施設訪問、学習  仮設住民との交流 震災学習 被災地中学訪問 防災学習 清掃ボランティア 仙台語り部タクシー 防災館 ボランティア	菓子専門学校 アニメ制作 官庁・企業訪問 企業研修 キッザニアで職業体験 キャリア学習 参院議員体験 職業体験 地元出身者の進路講話 専門学校訪問 大学訪問 ディズニーアカデミー テレビ局体験、番組制作 防衛省見学 ホテルの仕事のワークショップ 民宿の人生講話 NPO・NGO訪問 旅行会社社員の生き方講座  現地高校生交流 国際交流 ペンションオーナーとの交流	ICT体験 海浜体験 菓子作り サトウキビ刈り 搾乳 ジャム作り うどんづくり 伝統工芸 東京芸術劇場での学年合唱 都内班別研修 ボイストレーニング 牧場体験 美濃特産品販売体験 夜間中学体験 林業体験 漁村体験 整備工場体験 漁業体験
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 近畿

沖縄でのガマ体験グラム 沖縄での戦跡フィールドワーク 沖縄、長崎での平和セレモニー 第五福竜丸での平和学習 知覧特攻平和会館見学と講話 東京大空襲戦災資料センター見学 松代大本営跡でのフィールドワーク 満蒙開拓記念公園見学、講話 訪問先中学生等との交流 沖縄、長崎での戦争、被爆体験講話 平和反戦のアンケート実施	北淡震災記念公園見学と講話 震災学習 本所防災記念館で体験学習 そなエリア東京で防災訓練  水俣での環境学習 福山市人権平和資料館見学  農業、林業、漁業体験 民泊体験(人的交流) 民泊における各種家業体験 地引網、船釣り、磯釣り ホテルでのインターンプログラム	大学見学 国会特別プログラムの体験 都内の外国人旅行者を対象に 日本の印象などのアンケート実施  沖縄国際大学生等との交流 訪問先中学生等との交流 老人ホームお年寄りと交流 横浜での中国語講座
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## イ:自然体験

### 関東

パラグライダー	沢登り	ハイキング
サイクリング	キャニオニング	トレッキング
ジップライン	クライミング	
コルチナアドベンチャー	ボルダリング	マウンテンバイク
アウトドアスポーツ		マウンテンボード
アーチェリー	ウェイクボード	
グラススキー	カヌー	野球観戦
EXアドベンチャー	カヤック	
トロッコ	クリアボート	鹿寄せ
テニス	モーターボート体験	乗馬
	ラフティング	
陶芸	釣り	スノーボード
イチゴ作り		スキー
蕎麦打ち		
農場体験		

### 東海

サイクリング	シーカヤック	トレッキング
デイキャンプ	シュノーケリング	熊野古道歩き
ディスクゴルフ	干潟スポーツ	洞窟樹海探検
テニス	舟・海水浴	夜の森林散策
	ペーロン	
磯釣り	マリンスポーツ	
海辺散策	マリン体験	野球観戦
海洋生物観察	ラフティング	
カッターボート体験	ルアーフィッシング	
カヌー	筏づくり・乗り	
カヤック	イノー(潮溜まり)	

### 近畿

釣り	イルカとのふれあい	グラススキー
ラフティング	イカダ体験	トレッキング
カヌー	シートレック(海中散策)	熱気球
グラスボート	刺し網漁	
シュノーケリング		
ダイビング	パラグライダー	スノーボード
シーカヤック	キャニオニング	スキー
バナナボート	洞窟体験	雪山登り
ビーチバレー	原生林探検	
遊泳	樹海体験	
沖縄ハーリー体験	クライミング	
海(砂浜)遊び	パークゴルフ	
サーフィン	EXアドベンチャー	
ガタリンピック	乗馬	
ペーロン体験	ツリークライミング	

## ウ:歴史文化体験

### 関東

食品作り	起き上がり小法師作り	殺陣体験	ストラップ作り	京舞鑑賞
アイス作り	かんざし作り	ちんどん屋体験	キャンドルスタンド作り	舞妓鑑賞
ジャム作り	法被作り	雅楽体験、鑑賞	オルゴール作り	上方落語
パン作り	漆塗り	お茶体験	アロマ作り	吉本漫才鑑賞
おやき作り	竹細工	京炎そでふれ	ガラス絵彫り	松本城見学
カップヌードル作り	手捻り体験	昇殿参拝	クラフト作り	法話
京菓子作り	陶芸体験	舞妓体験	リューター体験	講話



餃子作り	赤べこ作り	狂言	時計作り
郷土料理	友禅染体験	着物体験	フォトフレーム作り
そば打ち	金箔作り	写経体験	マイ箸作り
たこ焼き作り	草木染め体験	お琴	旅行記表紙作り
肉まん作り	ろくろ体験	漫才師の話術体験	万華鏡作り
ソーセージ作り	民芸品作り	ブッシュダンス	ブレスレット製作
ピザ作り	織物体験	百人一首合唱奉納	マグカップ絵付け体験
和菓子作り	型絵染め体験	座禅	ガラス細工
わさび漬け	一刀彫絵付け	大茶盛体験	革細工
八つ橋作り	扇子作り		切り絵
	組紐作り		
漆器加飾	さるぼぼ作り		
七宝焼き	刺繍		
念珠作り	とんぼ玉作り		
機織り	握り墨		
絵ろうそく作り	匂い袋		
わらじ作り	蒔絵		
竹細工	和綴じ製本		

### 東海

食体験	海のランプづくり	浅草散策	アメリカ人宅ショートステイ
郷土菓子づくり	ガラス細工	巖島神社等見学	移民文化
肉まん・餃子作り	キャンドル作り	科学博物館	現地学校との交流、
ほうとう作り	マリクラフト	演劇鑑賞	英語でのコミュニケーション
もんじゃ焼き	食品サンプル作り	歌舞伎鑑賞	
	書籍編集体験	上方漫才	
江戸小物づくり	千羽鶴折	観劇	
江戸伝統産業	ビデオ・新聞づくり	軍艦島見学	
切り子作り	吹きガラス	原爆遺構見学	
シーサー作り	ランプ作成	TDR	
竹細工	貝殻フォトフレーム作り	国際通り	
伝統芸能の伝承		国会・最高裁の見学	
伝統工芸体験		古典落語鑑賞	
陶芸	エイサー	首里城見学	
風鈴作り	ガマ体験	卒業生のピアノリサイタル	
民芸陶芸の創作	おもてなし	長崎市内歴史遺産めぐり	
民芸品制作	三線体験	ハンセン病講演	
屏風作り	龍踊りの体験	美術館等の見学	
	コンサートホールでの	歴史遺産見学	
	合唱体験	未来館・博物館見学	

### 近畿

菓子作り	江戸風鈴絵付け体験	エイサー鑑賞・体験
郷土料理作り	ネイチャークラフト作り	三味線体験
黒糖づくり	マリクラフト作り	沖縄伝統芸能体験
鯉のたたき作り	シーサー絵付け	沖縄伝統芸能創作
寿司作り	アクセサリー作り	古武道体験
さつま揚げ作り	琉球藍染体験	琉球舞踊体験
よもぎ団子作り	焼き物絵付け体験	ダンス・演劇研修
ジャムづくり	貝殻細工作り	阿波踊り体験
チキンラーメン作り	ストラップ作り	演劇鑑賞
そば打ち	機織り体験	民謡体験
アップルパイ作り	サンゴ貝キャンドル作り	伝統楽器演奏体験
バームクーヘン作り	パワーストーンブレスレット	龍踊り体験
うどん打ち	とんぼ玉作り	太極拳体験
めんたいこ作り	うちわ作り	琉球民族衣装体験
沖縄料理作り	琉球ガラス作り	
かまぼこ作り	長崎ハタ(凧)作り	地元中学生と交流祭り
するめイカ作り	漆喰体験	砂蒸し風呂体験

燻製作り	オルゴール作り
干しもの(魚)作り	薩摩カスリ作り
アイスクリーム作り	ステンドグラス作り
バター作り	万華鏡作り
パン作り	染色体験
カステラづくり	
長崎ちゃんぽん作り	
サーターアンダギー作り	

## エ:その他 関東

ご祈祷	寄席体験	菓子作り	現地の人との触れ合い(郷土料理、民芸品)
座禅体験	トロッコ列車	清水焼、絵付け	現地の人に1対1のインタビュー
能体験	舞妓鑑賞	陶芸	京都大学キャンパスツアー
着物体験	舞妓体験	念珠作り	インタビュー
法話・説話	昇殿参拝	扇子絵付け	
琵琶湖クルーズ		かまくらづくり	今年度は予算の都合で行えなかった
中尊寺座禅体験		さるぼぼ作り	語学研修、ホームステイ
能・狂言鑑賞等		リンゴキャンドルづくり	体験先による
吉本芸人との漫才・レク		そば打ち	アイウが混ざっている
ディナークルーズ		和菓子作り	
夜間の特別拝観、献灯体験			
USJで映画の世界を体験			
キャリア教育の一環として絵師による講義			

## 東海

現地中学との交流	班で考える
福祉施設・人権講話	iPadでiMovie作り
郷土学習に関わるアンケート活動	班別自主研修 規範意識
ホームステイ	プレゼン制作と実施
大使館訪問	製作中心

## 近畿

フィールドワーク	都市交通機関を利用した計画的な移動体験
国際通り等で聞き取り学習	レンタルカート
タクシー利用で班別研修	野球観戦
電車交通網の乗車体験	食品サンプル作り
公共交通機関利用時のマナー研修	ダンス体験(ホリプロ)
テーブルマナー	報道体験
地元(学校所在地)PR冊子を配布	
JR飯田線秘境ウォーク	

### 2-(3) 体験学習 時間について

校

	関東	東海	近畿	合計	割合1	割合2
ア:1時間以内	424	10	36	470	20.4%	18.1%
イ:2時間以内	489	77	227	793	34.3%	30.6%
ウ:3時間以内	98	108	377	583	25.2%	22.5%
エ:その他	43	69	351	463	20.1%	17.8%
合計	1,054	264	991	2,309		

※割合1は実施校2,309校に対する値

※割合2は全校数2,594校に対する値

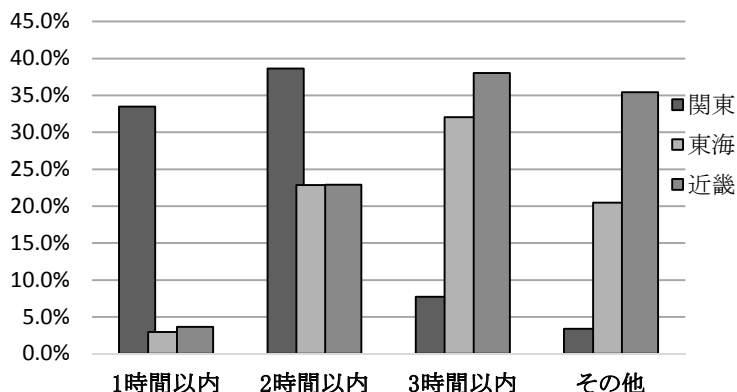
#### その他(詳細)

1時間×2コマ	13時間	生徒の選択による
3時間以上	16時間	班ごとに違う
4時間	18時間	農家ごと
4～5時間	半日～1日	
5時間	1日	
3時間×2	2時間+1日	
6時間	1日～2日	
10時間	1泊2日	
11時間	1泊2日+23時間	
半日	3日間	
12時間半	全行程	

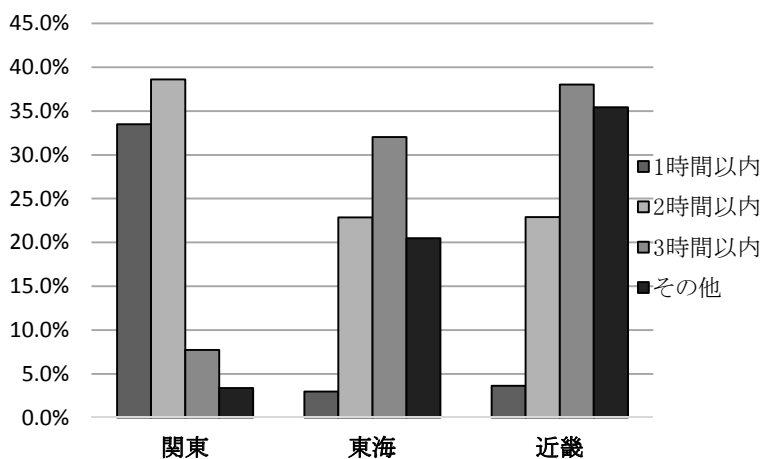
### 体験学習の時間について

・関東地区では1～2時間以内で体験活動を実施している学校が多いが、東海・近畿地区では2～3時間以内、またはそれ以上の学校も多く見られる。ねらいと体験内容の違いにより差がでている。

#### 2-(3) 体験学習の時間



#### 2-(3) 体験学習時間(県別)



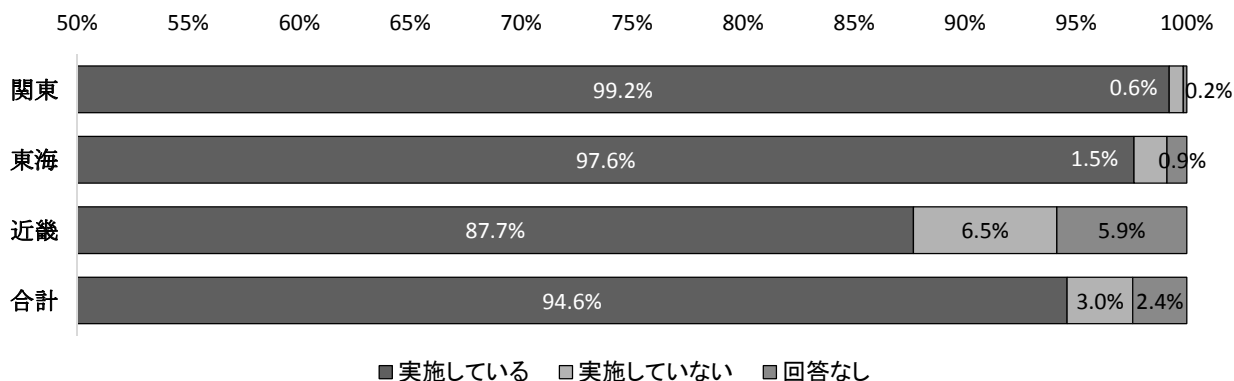
### 3 事後学習について

#### 3-(1) 事後学習の実施について

	関東	東海	近畿	合計	割合
実施している	1,256	329	869	2,454	94.6%
実施していない	8	5	64	77	3.0%
回答なし	2	3	58	63	2.4%
合計	1,266	337	991	2,594	

※割合は全体数2,594校に対する値

#### 3-(2) 体験学習時間(県別)



■実施している □実施していない ■回答なし

#### 事後学習の内容について

#### 3-(3) 事後学習の内容について(複数回答)

	関東	東海	近畿	合計	割合
ア:壁新聞作成	834	225	499	1,558	60.1%
イ:紀行文、俳句、短歌	431	48	206	685	26.4%
ウ:自己研究	279	146	430	855	33.0%
エ:文化祭等での発表	322	47	97	466	18.0%
オ:自己評価	310	86	194	590	22.7%
カ:現地での研究調査	63	11	54	128	4.9%
その他	125	36	105	266	10.3%
回答なし	14		114	128	4.9%
延校数	2,378	599	1,699	4,676	

※割合は全体数1,266校に対する値

・いずれの地区も壁新聞を作成している学校が最も多い。関東地区では歴史文化体験が多い関係で2位には紀行文、俳句、短歌となっている。一方、東海・近畿地区では社会体験、自然体験が上位を占めている関係で、2位は自己研究となっている。自己評価や発表の取組が増えているのは、学習指導要領の趣旨を生かした各学校の取組が伺える。

その他(詳細)

#### 関東

紙芝居の作成等	個人レポート、作文
感想文	スクラップブックの作成
切り絵作成、英作文、写真コンクール	スケッチブックB6に修学旅行での活動をまとめる
個人新聞作成・掲示	全てをまとめて冊子にし、全員に配布する
個人新聞俳句短歌作り	体験して作ったものを展示する
個人新聞をパソコンで作成する	トラベルノートを制作
個人で新聞を作成し、学年でまとめて冊子にする	パンフレットを作成
個人で旅ノート作成し、読み合う	旅行記(アルバム)の制作
個人の修学旅行ブックを作成する	旅行記を作成し、文化祭で掲示
個人の振り返り、フォトコンテスト	旅行記をスケッチブックにまとめる

お世話になった方々に感謝の手紙を書いて送る 手紙交流 手紙を書き、感謝の気持ちを伝える。 タクシー運転手さんへのお礼の手紙作り	2年生への修学旅行の発表会 学年集会で発表 学年部会の授業参観で発表 英語作文で発表 英語でプレゼンテーションを行う
地元の観光地紹介の参考 ア・エの評価を全員で行う 総合的な学習の一つとして学習を深める 写真や説明文を入れ、板目表紙による屏風状のものを作成	修学旅行について2学年に伝える機会をもつ 新聞に限らず班ごとにまとめを行い発表する 班ごとにプレゼン作成、発表

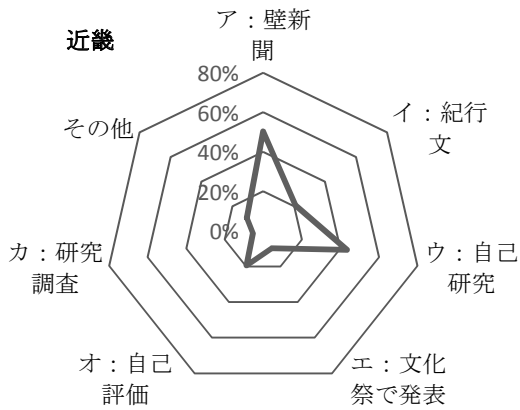
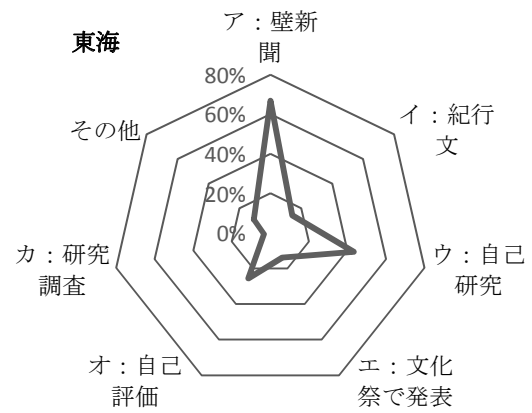
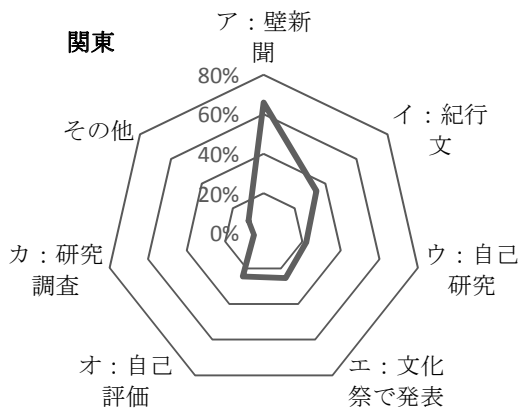
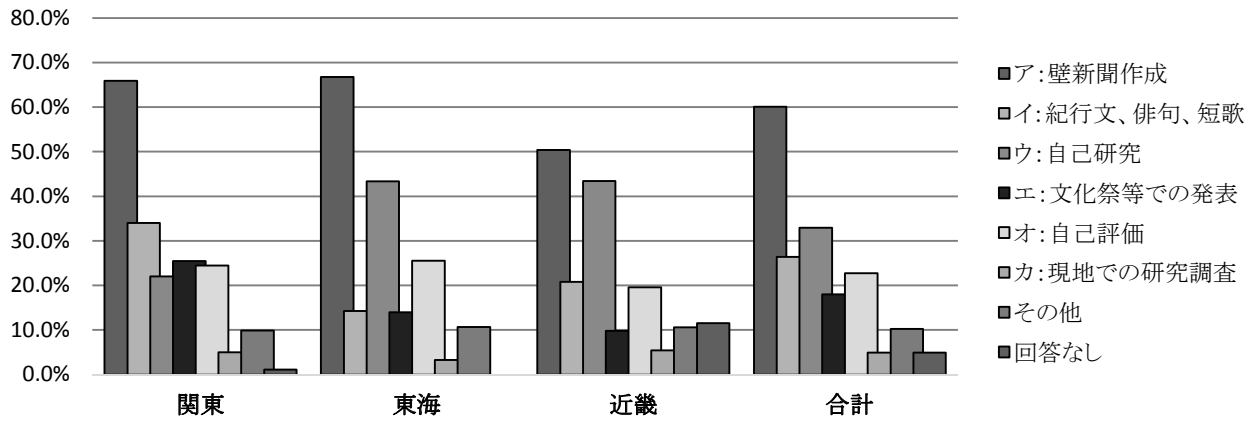
## 東海

アルバム お礼状 紀行文・短歌 個人新聞作成・訪問先へ送る 個人新聞作成掲示 個人でまとめ発表 個人レポート作成	作文 新聞記事での平和学習 進路選択に生かす 全校集会で合唱発表 パワーポイント作成 反省用紙・思い出 振り返り作文 平和宣言文作成
----------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------

## 近畿

下級生に学んだことを発表 3年生を中心に校内で平和式典を開催 アルバムを作成し、文化発表会で展示 アンケート活動の集約分析 絵本作り 各教科にて、教科と絡めた学習 各自でアルバムを作成 各自で新聞作成・掲示 各自で新聞作成し、学年全体で冊子にまとめる 各自で新聞作成し、クラスで発表 民泊体験のプレゼンテーション実施 聞き取りと資料の読み合わせ グループ活動の振り返りを行う 現地の学校との交流を継続 校区の小学校に修学旅行報告会を実施 作文作成 作文と俳句を作り、振り返りを行った 事後アンケート スクラップ(アルバム)作成 礼状・寄せ書きの作成 礼状から文通への発展(一部生徒)	各自で新聞作成し、文化祭で展示 各自の振り返り作文を修学旅行実行委員会が新聞にまとめ 各自でポートフォリオにまとめる 各自でレポート作成 各自でレポート作成・掲示 各自でレポート作成し、冊子にまとめる 各自でレポート作成し、文化祭で掲示 感想・反省文を各自作成 感想文作成 感想文を作成し、夏休みの平和登校の場で発表 感想文を作成し、学年通信に掲載 礼状(絵葉書)の作成 体験作文集を作成 農業体験で収穫されたお米を生徒の各家庭に配発表会の実施布 文集作成 平和アピール 平和学習の講話もとに、文化祭で劇化 まとめのアルバム作成 まとめの平和学習 礼状作成 礼状作成とその後の交流
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 3-(4) 事後学習の内容について



・関東地区のグラフと東海、近畿地区のグラフが大きく違っているのは、体験内容の違いと、それによる事後学習の進め方の違いによるもので、グラフで見ると一目瞭然である。

## VI まとめ

平成20年度からまとめ始めたこの三地区（関東・東海・近畿）の実施状況調査であるが、その当時の調査対象校数は3,203校、今年27年度の対象校数が3,120校であるので、ここ8年間で約80校減少したことになる。生徒減少による学校の統廃合が一番の原因かと思われる。

回答してくれた学校数で見ると平成20年は3,017校、全体の94.2%に対して、今年度は3,003校、全体の96.3%となり、この8年間では最も高い数字になった。アンケートの回答率を上げるために、校長会でのアンケート配布・回収方法を改善していただいた地区もあり、それによって、更にデータとしての信頼性が高まったことを考えると、改めてそのご努力に感謝申し上げたい。

言うまでもなくこうした調査のデータは、現在の修学旅行の状況を知る上で大切な判断資料であると同時に、現在の課題を改善していく研究活動や陳情活動、そして、将来の修学旅行を展望していく上においても極めて貴重な資料となるものである。

実施状況調査では、修学旅行の実施方面について、関東地区と近畿地区では比較的変動はなく、東海地区において、その年度の特徴に若干の変化が見られた。また、実施方面と体験学習の内容については、関連性が深いことがよく分かる結果となった。

旅行会社の選定方法、観点等については、地域の置かれている状況によって優先項目にはっきりとした差が見られたことは興味深いところであった。

「学びの集大成を図る修学旅行の取組について」に関わっては、感性を育む修学旅行の実現のため、現地で最も影響を受けた事について調査してみたところ、自分の想像していた以上の美しさや、大きさなど直接触れる事による感覚的なものが与える影響の大きさがはっきりと結果として出てきた。また、体験学習の内容については、関東地区では関西方面への修学旅行が圧倒的に多いこともあり、日本の伝統文化に触れる歴史・文化体験が中心である。それに対して、東海地区では、関東方面への実施が一番多く、体験の内容も社会体験の比率が最も多い。また、近畿地区からは沖縄と関東、九州、北陸信州と実施方面が多方面にわたっているとともに、社会体験や自然体験を中心に、平和学習、自然スポーツ体験、生活文化体験（農家体験）等、内容も多彩である。実施方面と体験学習の内容は、ねらいと目的と同様に深い関連性を持っている。

修学旅行費用については関東地区・東海地区・近畿地区それぞれで初めて平均が6万円を超えた。その他の地域でも、バス代等の値上がりはそれなりの影響を与えはじめている。

平成27年度研究調査報告  
修学旅行の実施状況調査  
修学旅行の課題調査『学びの集大成を図る修学旅行』の取組について

平成28年3月  
公益財団法人全国修学旅行研究協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-6-8  
Tel:03-5275-6651 Fax:03-5275-6653  
E-mail: shuryo@h2.dion.ne.jp  
URL <http://shugakuryoko.com>